

- 本製品はBluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
 - 本製品はハンズフリーまたはヘッドセットプロファイル※に対応しているBluetooth®無線技術を備えた機器に接続できます。
- ※プロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとの機能の規格

●本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前に本書をよくお読みいただき、読み終わりましたらお買い上げレシートと一緒に保管してください。

①同梱物

●本製品には下記付属品が同梱されています。開封後必ずご確認ください。

本体
専用充電ケーブル
イヤークービス(S/M/L)
※Sは本体装着済
取扱説明書(本書)



本体+イヤークービス S イヤークービス M/L 取扱説明書(本書)

②各部名称



③ご使用前に充電をしてください

- 充電端子に専用充電ケーブルを接続しお手持ちのAC充電器などに接続し充電してください。
- ※DC5V/1Aの安定した出力の充電器をご使用ください。

⑤基本操作

- 電源をオンにする
ヘッドセットがOFFの時、LEDライトが点滅するまで多機能スイッチを長押ししてください。
- 電源をオフにする
ヘッドセットがONの時、LEDライトが消えるまで多機能スイッチを長押ししてください。一定時間操作を行わないと自動的にOFFになります。

⑥LEDライト

本製品は各種操作に応じてLEDライトでお知らせします。

動作	LEDライト
電源 ON	青ライトが一瞬点灯します
電源 OFF	青ライトが長く点灯します
ペアリング	青ライトゆっくり点滅します
充電中	青ライトがずっと点灯しています
充電完了	青ライトが消えます。

⑦音楽を聞く

本製品はA2DP(オーディオプロファイル)に対応している為、ペアリング(接続)した携帯電話やスマートフォンの音楽やスマートフォンのナビ音声などを聞くことができます。AVRCPに対応しておりますのでリモート制御できます。

- 音楽の再生や停止
接続先(ペアリング)機器で操作してください。

●音楽の音量調整

- 音量/曲送りボタンで調整します。
- ◎音量を上げます。お好みの音量まで数回押ししてください。
- ◎音量を下げます。お好みの音量まで数回押ししてください。

ヘッドセットの音量を調整してもお好みの音量にならない場合は、接続先機器の音量を調整してください。

音楽再生中に電話がかかってきた時は音楽が止まり、英語と中国語で着信のお知らせをしますので、多機能スイッチを押せば通話できます。通話が終了したら接続電話機器側で再生設定を行えば再度音楽が聞けます。

④携帯電話とのペアリングをします

●ペアリング：本製品をお手持ちの機器に初期登録する操作

「接続先機器により、設定方法や用語がそれぞれ異なります。あくまでも下記接続例は設定の参考とし、必ずお使いの接続機器の取扱説明書でご確認の上、設定してください。」

①ヘッドセットをペアリングモードにします。

ヘッドセットの多機能スイッチをブルーライトが点滅するまで長押しします。

②接続機器の設定を行います。

- 接続機器のメニューリストや設定などから、Bluetooth画面を開きます。
- 登録リストなどから「YES」または「登録します」「はい」などを選択します。
- Bluetooth対応機器の検索を行うなどで「OK」または「はい」などを選択します。
- 登録または検索後、画面上にヘッドセットのペアリング名称「Fc1」が表示されます。
- 画面上に表示されたペアリング名称を選択し、「YES」または「登録します」「はい」などで登録します。
- ペアリングを完了するまで表示が継続されます。その際Bluetoothバスキー、暗証番号、PINナンバーなどの表示が画面上に表示されたときは「0000」を入力してください。
- 設定時ヘッドセット、ハンズフリーワイヤレス等を選択するときは「ハンズフリー」を選択してください。

「バスキー、暗証番号、PINナンバーなどを入力しない機器もあります。ペアリングが上手くいかなかった場合は、一度ヘッドセットの電源を「OFF」にし接続先機器の取扱説明書を再度確認し、ペアリング作業を繰り返してください。」

②ペアリングが完了すると交互点滅が緩やかな点滅に切り替わります。

これで基本的なペアリング作業は完了です。

！ペアリング終了後、すぐに発信できますが、機器により携帯電話機のBluetooth画面から接続状態を「接続」「ON」など選択しないとBluetooth機能が使用できない場合もあります。ご使用の接続先機器の取扱説明書をご確認ください。

⑧携帯電話で通話する

①電話を受ける

ヘッドセットから着信のお知らせが聞こえたら多機能スイッチを押してください。※着信のお知らせ=英語と中国語で着信のあった番号を読み上げます。

②通話を終了させる

通話状態で多機能スイッチを押してください。

②キャッチホンをとる

通話状態で多機能スイッチを押してください。新しい通話相手との電話を受けます。元の通話相手との通話を保留にしたい場合は携帯電話で操作してください。

④通話拒否

ヘッドホンから着信のお知らせが聞こえたら多機能スイッチを約3秒長押ししてください。ご使用中の携帯電話の設定により、発信者(相手側)は留守番電話に接続されるか通話中のアナウンスが聞こえます。

⑤電話をかける

接続している携帯電話から電話をかけます。

⑥最後にかけた番号へのリダイヤル

ヘッドセットの多機能スイッチを素早く二回押ししてください。



- ON/OFF
- ON後3秒でペアリング状態になります
- 通話/終話
- 着信時、押すと通話状態になります
- 着信時、長押しすると通話拒否になります

⑨本製品の電池残量表示機能

ご使用になる接続機器側により異なります。

安全のために(警告と注意)

安全に十分配慮して設計されていますが、間違った使い方をする、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次の事を必ずお守りください。

- 「安全のために(警告と注意)」の注意事項をよくお読みください。
- 定期的に充電器のプラグ部とコンセントの間に埃がたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検して下さい。
- 万が一異音・異臭・発煙などの異常が起きた場合はすぐにご使用を止めて、電源を切る、充電ケーブルを抜いて弊社またはお買い上げ店にご相談ください。

警告

下記の注意を守らないと、火災・感電・発熱・発火により死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

本製品について安全上の注意

- 投げたり、衝撃を与えたり、分解・改造などは絶対にしないでください。それらに起因する故障、トラブルについては一切の責任を負いかねます。
- 本製品は防水構造ではありません。水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万が一水や異物が入った時は、すぐに使用を中止し、充電器を抜いて、お買い上げ店にご相談ください。
- ぬれた手で本製品や充電器に触らないでください。感電の原因となります。
- 雷が降りたら感電の原因となる為、充電用接点や電源プラグに触れないでください。
- 本体や、充電ケーブル・充電器を布回などで覆った状態で使わないでください。熱がこもって変形したり、火災の原因となることがあります。

電池についての安全上の注意

- 火の中に絶対に投入したり、分解や加熱をしないでください。大変危険です。
- 火のそばや直射日光のあたるところや、炎天下の車内などで使用・保管・放置しないでください。

交通安全のために

- 運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたると、安全運転に反する行為は違法であり、事故や怪我の原因となります。
- 運転中は本器および携帯電話を使用しない。
 - 運転中に携帯電話を注視しない。
 - 運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など周囲の音が聞こえないと危険な場所では、ヘッドセットは使わないでください。

機器認定について

本製品は、電波法に基づく小電力データシステムの無線設備として、認証を受けています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本製品を分解/改造すること

周波数について

本製品は2.4GHz帯の2.400GHzから2.4835GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上の注意事項

- 本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体専用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が適用されています。
1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 2. 万が一「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の使用を停止(電波の発射を停止)してください。この無線機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、干渉距離は約12mです。

注意

下記の注意を守らないと、感電やその他事故により火傷や怪我をしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

- 無理な力を加えないでください。
- 使用中または充電中に本製品が熱くなることがありますが、異常ではありません。
- 本機の水や電気が古くなっていたり、故障している場合は充電できません。
- 炎天下や直射日光の当たる場所や埃・振動・湿気や水分の多い場所では使用しないでください。
- 熱がたまりやすく放熱にくい場所では使用しないでください。
- DCソケットで充電する場合差込口が埃やゴミなどで汚れていないか確認してから充電してください。正常に作動しなかったり、火災・感電・事故・故障の原因となる恐れがあります。
- 幼児の手の届く場所、直射日光の当たる場所、高温多湿の場所での保管は避けてください。
- 大音量で長時間続けたり聞すぎないでください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けたり聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守り適切な音量を上げすぎないようにご注意ください。ヘッドセットに接続している機器によっては、ハウリング現象が起きることがありますので、常に適度な音量を保つようにしてください。
- このヘッドセットは音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎると周りの人の迷惑にならないよう気を付けましょう。
- 初めからボリュームを上げすぎず、徐々に上げてください。耳を傷める原因になる恐れがあります。
- 通電中の充電器や製品に長時間触れないでください。低温火傷の原因になることがあります。
- かゆみや違和感が出たら使用しないでください。ヘッドセットが肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師または弊社またはお買い上げ店にご相談ください。
- 本製品を飛行機の中でご使用にならないでください。電波が影響を及ぼし誤動作による事故の原因となる恐れがあります。
- 本製品を医療機器の近くで使わないでください。電波が心臓ペースメーカーや医療用電子機器に影響を与える恐れがあります。消臭電卓などの混雑した場所や医療機関の室内では使わないでください。
- 本製品を心臓ペースメーカーから22cm以上離してください。電波によりペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。
- 本製品を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使わないでください。電波が影響を及ぼし誤動作による事故の原因となる恐れがあります。
- 長時間使用しない時は、安全のため充電器に接続したまま放置せず必ず抜いてください。

困ったときの対処方法

ペアリングが出来ない

- ペアリングは1m以内で行ってください。
- 携帯電話のBluetoothプロファイルを確認してください。異なるコーデックではペアリングが出来ません。(本機のコーデックはA2DP・HFP・HSPです)

ヘッドセットで通話できない

- ペアリングが正しく行われているか確認してください。
- お使いの携帯電話の取扱説明書を読み、再度ペアリングをやり直してください。また設定方法もあわせて確認してください。

電源をONにしても何も聞こえない

- ヘッドセットが充電されているか確認してください。
- 音量を調整してみてください。

雑音が入る

- 接続されている携帯電話を本製品から近いところにおいて試してみてください。
- 電池容量が少なくなっている可能性があります。
- 通信に干渉するような場所で通話している可能性があります。

通話相手に自分の声が聞こえない

- 一部の携帯電話では、ヘッドセットのマイク入力を設定する必要がある機種がありますので、マイク入力を有効にしてください。

製品仕様

Bluetooth Ver	5.0	使用可能距離	8m~12m(障害が無い場合)
質量	約1.4g	固定方法	耳掛け式
充電ポート	MicroUSB	ペアリング発音	Fc1
電池	リチウムポリマー	左右変更	可能
原材料	PC/ABS	充電時間	約1時間
対応コーデック	A2DP1.3 HFP1.7 HSP1.2 AVRCP1.6 SPP1.2 PBAP1.0	同梱物	本体/専用充電ケーブル/取扱説明書/イヤークリップ(M-L)各1個/検閲済

Made in China

製造元：販売元

Willcom Co., LTD

製造元：ウイルコム株式会社
横浜市金沢区福浦2-11-2

お客様相談室

平日10:00~12:00 13:00~18:00
TEL.045-370-8090
http://www.willcom-co.com/